

印南町立中学校の適正規模に関する教職員アンケートについて

実施期間 令和3年2月3日～2月10日

1 対象者 県費常勤教職員 小学校 51名 中学校 51名 計 102名

2 回収率 100%

3 アンケート結果

問い1 勤務校について (1)校種 (2)校区

	稲原地区	印南地区	切目地区	清流地区	人数	%
小学校	10	17	14	10	51	50
中学校	11	15	14	11	51	50
合計	21	32	28	21	102	100

問い2 中学校統合について

	稲原地区		印南地区		切目地区		清流地区		合計			%
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	全体	
賛成	9	10	5	11	13	12	7	11	34	44	78	76.4
反対	1	0	4	1	1	0	0	0	6	1	7	6.9
わからない	0	1	8	3	0	2	3	0	11	6	17	16.7
合計	10	11	17	15	14	14	10	11	51	51	102	100
	21		32		28		21		102			

問い3 主な理由 2つ選択

【賛成の理由】
(S1) 人間関係が固定化し、交友の選択の幅が少なく人間関係がこじれると長い期間、そのことを引きずりやすい。
(S2) 仲良しではあるが、人数が少ないため、お互いが切磋琢磨する条件が不足している。
(S3) 小規模校のために児童生徒は先生に依存し頼りがちになる。
(S4) 様々な学習形態、学習方法の選択に制限を受ける。
(S5) 多様な考えや意見の交換の場が制限される。
(S6) 部活動について、集団スポーツ部が存続できなかつたり、クラブ数が限られたり、文化活動の部が設置できていない。
(S7) 教育活動をする上で、人間関係や部活動、学習活動をする上で生徒にとって選択する条件が少ない。
(S8) 学校行事等、人数が少ないために活気等が乏しくなりやすい。
(S9) 職員数が少ないために、校務分掌を多く持たなければならない。
(S10) 音楽や美術等の教員を配置するのが大変である。

賛成	稲原地区		印南地区		切目地区		清流地区		合計			%
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	全体	
S1	4	2	3	5	8	9	4	4	19	20	39	25.5
S2	1	3	1	2	3	0	0	3	5	8	13	8.5
S3	1	0	1	0	0	0	2	1	4	1	5	3.3
S4	0	2	0	2	2	1	3	3	5	8	13	8.5
S5	1	4	1	1	3	1	1	0	6	6	12	7.8
S6	3	4	3	3	2	4	3	4	11	15	26	17.0
S7	4	2	1	5	6	4	1	6	12	17	29	19.0
S8	1	1	1	2	1	2	0	1	3	6	9	5.9
S9	1	0	0	2	0	1	1	0	2	3	5	3.3
S10	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	2	1.3

その他	○生徒数が少ないと生徒もかわいそうだし、学校を統合し、学校で多くの先生で学校を運営する方が先生の負担も少なくてすむから。
わからない理由	○統合のよさもあると思うが、通学の負担や学校がなくなった地域の衰退も心配。 ○一長一短あるので、どちらともいえない。 ○よい所とそうでないところがあるので判断しきれない。

【反対の理由】

(H1) 一人一人に目が行き届き、基礎基本の学習や児童生徒との関わりが密にできる。個別指導がやりやすい。

(H2) 学校全体で子どもが見られる。学校が家族的である。

(H3) 地域が協力的で、地域とのつながりが強い。

(H4) ノートを見たり、赤ペンを入れたり、プリントの印刷、学期末の事務量が少なく済み、子どもと関わる時間が多く取れる。

反対	稲原地区		印南地区		切目地区		清流地区		合計			%
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	全体	
H1	1	0	4	2	1	0	0	0	6	2	8	40
H2	1	0	3	1	0	0	0	0	4	1	5	25
H3	0	1	2	0	1	0	0	0	3	1	4	20
H4	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1	3	15
その他	<p>○上記のような理由から現状が好ましいと思いましたが、ゆくゆく子ども達が大きな社会で生活するには、ある程度の規模で人との関わりや自分の生かし方を学べるとも考えますので(3)わからないで答えさせて頂きました。</p> <p>○遠方からの通学には、保護者に負担(緊急下校時)になるのでは。</p>											

問い3 これからの中学生たちにつけたい力 3つ選択

問い3 先行き不透明な時代に生きる中学生たちにどのような力をつけたいとお考えですか？ 以下より3つ選んでください。
 ア 基礎的・基本的な学力の習得
 イ 興味・関心を育て、根気強さや集中力、学ぶ意欲の育成
 ウ 判断力や思考力、表現力、コミュニケーション力等の活用力の育成
 エ 受験に役立つ力の育成
 オ 課題に向かい、主体的に判断し、解決・行動する力の育成
 カ 善悪や他人をおもいやる心などの道徳心の育成
 キ 気持ちのよいあいさつや社会のルールを順守するなど社会性や協調性の育成
 ク 自己肯定感の育成
 ケ 健康や体力を保持・増進する力の育成
 コ 国際理解（英語教育）の力の育成
 サ インターネットや情報（ICT）を活用する力の育成
 シ 地域の自然や伝統文化を大切にし、郷土への愛着と誇りを持つ力の育成
 ス その他（ ）

賛成	稲原地区		印南地区		切目地区		清流地区		合計			%
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	全体	
ア	4	2	6	8	4	5	3	6	17	21	38	8.8
イ	3	3	8	3	5	2	2	1	18	9	27	6.2
ウ	8	8	8	9	10	11	5	7	31	35	66	15.2
エ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0.2
オ	3	8	5	4	4	7	3	5	15	24	39	9.0
カ	5	3	7	9	5	3	7	3	24	18	42	9.7
キ	3	4	4	4	6	4	1	2	14	14	28	6.5
ク	2	1	4	3	4	5	3	4	13	13	26	6.0
ケ	1	1	0	3	2	1	1	2	4	7	11	2.5
コ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0.2
サ	1	0	2	1	1	3	0	2	4	6	10	2.3
シ	0	2	5	1	1	1	1	1	7	5	12	2.8
ス(その他)	○非認知能力 ○ア～シどれも大切だと思います。 ○すべて必要です。											

問い4 施設・設備に関する要望、新設校への期待（自由記述）

- 中学校
- 校内教室、特別教室、体育館の空調設備（地域の避難所と兼ねる）（3人）
 - 国際的な感性や英語教育の推進のためにALTの専従を。
 - 体育館に常設の舞台を（4人）
 - 調理室と被服室を分ける。各階に自由に使える部屋。2学級の支援学級の教室を同じ階に。
 - 各教科で専門の教師の配置。
 - 個への対応。各階に相談室を。（2人）、相談室を各学年1つ。各階や職員室に近くの場合）。
 - 相談室的な部屋を1階に部屋程度、各階に2つ程度。
 - 多目的ホール（フリースペース）（2人）
 - 全校集会が行えるフリースペース。
 - 図書室が生徒に活用しやすい位置に設置されることを望みます。
 - 職員用更衣室、休憩室。
 - 十分な教室数。広さ。
 - ICTに対応できる先進の設備。
 - 職員の作業室。課題プリント冊子づくり。進路や書類の作成。
 - 相談室や特別支援学級が適切な場所に配置されるように。図書コーナー

- 子どもたちの個別性に合わせて、必要な時に対応できる教室数の確保や相談室の充実。
- 教室の黒板をホワイトボードにする。
- 玄関ホールを広くして、図書を置いたり、ゆったりするスペースにする。
- 統合しても、それぞれの地域の良さを交流し、相互理解を深められるような指導をする。
- 生徒教室を広くする。電子黒板、タブレット等の配置スペースを)
- 特別教室に準備室を。
- 多目的に利用できる教室を複数配置。
- 大型のテレビ（電子黒板）などを置いても大丈夫な程度の教室の広さ。
- 普通教室前に手洗い場を。
- トイレは洋式。全教室エアコン。
- ランチルーム、会議室の設置。
- グラウンドの芝生化。
- エレベーターの設置。
- 事務室の設置。
- 校舎内外のバリアフリー化。
- 図書の充実。
- 誰でも来校できるようにバリアフリー化、エレベーターの設置。
- 広いグラウンドや駐車スペース等、ゆとりのある敷地。
- 電子黒板を各教室に置いておけるような場所の確保。
- 生徒の荷物、教科書、等十分に収納できるロッカー。
- 教材がおける教材室。
- 津波（災害）に備え、高台に校舎を建設した方がよいと思います。
- 自然災害に強い備え。
- 学習教材の充実。統合する時に教材、道具なども新しくしてほしい。（生徒の安全に関わるようなもの）
- 各クラブ専用の建物（道場等）
- ICT環境の整備（電子黒板、タブレットの活用しやすい環境、保管や設置場所など）
- （津波がこない高台）ランチルーム、廊下や階段の幅が広い（段差、勾配）、生徒ロッカーの広さ、トイレの洋式
- ICT機器の充実（Wi-Fi環境等）様々な活動における道具の充実（調理、木工等の作業）
- トイレを快適な環境に。教育相談用の小さな部屋を複数設置。生徒がホッとできる空間の確保。
- これからの教育にはタブレットや電子黒板等の使用が必須となります。そのため保管する場所の確保も大切と思います。十分な教室の数、広さを望みます。相談対応できる部屋
- 体育館の空調設備
- 生徒や保護者がスクールカウンセラーなどに気軽に相談できるよう人目の付きにくい場所での相談室などの設置を望みます。
- バリアフリー
- 給食の自校方式
- 学校に登校しやすい生徒へのケアを行う場所
- ユニバーサルデザイン
- ネット環境の安定（ICT機器の充実）、相談室などフリーに使える部屋又は教室の確保
- 活動しやすい広い教室
- 津波などの災害に対処できる学校
- 印南で一つの中学校として、ほこれる中学校を望みます。
- 各教科専用の教室
- 特別教室の充実（空調設備）、備品の充実と整備、各学年に多目的教室、各階にトイレ、手洗い。体育館に舞台。バスケットコート2面。
- 卓球場、グラウンドに直線（100m、トラック200m）野球も陸上も、テニスもできる広さ、避難所として利用できる体育館、LED化、支援教室設置できる教室……
- できる限り「広い」校舎をお願いします。
- 35人入っても密にならない教室
- 200mトラックが十分にとれるグラウンド
- バスケットコート2面がとれる体育館

小学校

- バリアフリー、エレベーター
- 例えば、花壇を開放するなど、地域の人が常に入出入りする空間を工夫する。
- 余裕のある教室数と施設の広さ
- 各階トイレ、エレベーター、洗い場の充実
- 教科専用の教室、設備
- 広い目の普通教室、技術進歩に常に対応できる教材・教具（特にICT関連）
- 体育館に空調設備を。
- 電子黒板の導入（体育館）
- 一人一台のタブレット環境が整ったので、体育館にWiFi環境があり大スクリーン（電子黒板やプロジェクター）に投影できる環境がほしいです。
- 学習活動の共有ができます。体育館にクーラーがほしいです。
- たくさんの蔵書がある図書室。静かに本を読むスペースと話し合いのできるスペースがあるとよりよいと思う。
- 地震、津波に安心な高台。好きなクラブに入れるように。
- いろいろなことに活用できる多目的スペース。
- 教育相談や個別指導ができる部屋を複数。
- どの校区からもアクセスしやすい場所。
- 子ども達が不安になったりしないようにしてほしい。
- 少人数ではできないことができるようになると思います。
- 地域に学校がなくなってしまうということは、とてもさみしいことです。でも、今の現状を見ると仕方がないことなのかと思います。広い校区になり難しい問題が山積だと思えますが、立地場所を含め、十分に話し合いを深めた上で進めていってほしいと願っています。
- 地震津波対策とエレベーターの設置
- 多目的ルーム（全校が集合して集会ができる広さの部屋）複数の理科室（準備して授業に入れるように）安全に使える技術室、ミシンの移動が不要な家庭科室、地震時、出たこない引き出し付の図工室。
- 不自由のない登下校
- ICTの充実
- 地域防災の面で、避難場所になると思うが、その点を十分に考慮した施設・設備であってほしい。（例）体育館には空調が必要、太陽光パネルで充電等
- 高台で耐震性のある建物を望みます。また、教室の広さやグラウンドの広さなど、コロナ禍でも大丈夫な広いものを望みます。
- 冷暖房機能が十分な体育館。
- 給食調理施設、文部科学省の基準に沿った施設を望みます。また、調理施設の出入り口まで大きな車が入りやすいようにお願いします。
- 地震や災害への耐久性、避難場所となる施設。学習、部活動がしやすい環境。
- 充実した図書室、室内で集まれるようなフリースペース。
- 図書室、冷暖房完備の体育館。
- 校舎、体育館に冷暖房があればよいと思う。
- 図書室、広く蔵書が多いもの。
- 空気の入替えができる空調設備。
- 仕事をしやすい環境
- 統合し、もし印南地区に学校ができると、印南地区はますます栄えるが他の地域は、住民がどんどん減少すると思う。（若い人が家を新築する場合に学校が近いからと印南を考える）印南町は広いので1校にすると通学に時間がかかりすぎる場合もある。例えば、2校に統合し、校舎の事も考え、切目と稲原を使い、町内を小学校単位で2つに分けるのではなく、選択できるようにし、近いという理由や友達関係、クラブのことなどから自由に選べるようにする方法もあると思います。